

(2) 市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします

①行政経営の高度化

基本的方向

地方分権改革の流れのもとで、地方公共団体は自らの責任により政策を決定し、地域の特性を活かしたまちづくりをおこなうことが求められています。また、少子高齢化などによる社会構造の変化に伴う新たな行政需要の拡大や、市民ニーズの多様化に柔軟に対応できる行財政運営システムの構築が求められています。

今後は、行政経営の視点から、最少の経費で最大の効果を上げることに傾注し、組織マネジメントの充実、職員の意識改革や能力開発の強化を図り、効果的な市民満足度の高い行財政運営を推進します。

施策

1) 行政評価システムの推進

施策や事業について、その必要性、有効性、効率性、公平性などの視点から点検し、その結果を事業の選択、優先順位付け、見直し、改善など以後の行財政運営に反映させて効果の高い行政サービスを実現するとともに、その評価結果を公表して市民への説明責任の向上を果たします。

2) 人材の育成と活用

「泉南市人材育成基本方針」にもとづき、職員研修の充実など計画的な人材の育成とその活用を推進します。

3) 高度情報化の推進

行政情報ネットワークや各システムを構築し事務のICT化をさらに進めます。また、ICTの活用によってネットワークを介した行政サービスの充実に努めます。

4) 高い市民満足度が得られるサービスの推進

常に市民の立場に立った接客対応を心がけ、的確な判断と正確な事務処理を迅速におこないます。とりわけ、窓口部門での市民満足度の向上をめざします。